

武蔵国分寺遺跡調査会年報II第二分冊：昭和51～53年度寺地・僧寺寺域確認調査(1982)

頁	行	誤	⇒	正
凡例②	土器口	須恵器坏・埴は	⇒	須恵器坏・埴・皿は
凡例③	鏡 瓦	□.内区文様	⇒	□.外区文様
凡例③	男瓦・女瓦	八.叩き締め of 円弧	⇒	八.叩き締め
凡例③	男瓦・女瓦	B.叩き締め of 円弧が「八」字状を	⇒	B.叩き締め of 円弧が()状を
図面目次	図面26	SD17・46溝跡	⇒	SD17・49溝跡
4	第48次SD42	SD46・50溝跡よりも	⇒	SD45・46溝跡、SK206土坑より
4	第48次SD45	SK206土坑よりも新しい。	⇒	SD42溝跡よりも新しくSK206土坑よりも古い。
5	第48次SD50	U字状	⇒	V字状
5	第48次SD50		⇒	SD42溝跡以下削除
5	第48次SK206	SD45溝跡よりも古い。	⇒	SD42・45溝跡よりも新しい。
14	土器18-1	(出土位置)覆土	⇒	床直上
14	土器18-6	(法量)4.9	⇒	6.0
14	土器18-7	(出土位置)覆土	⇒	貼床内
14	土器18-13	(出土位置)覆土	⇒	貼床内
14	土器18-13	下端をへら削り	⇒	下端を回転へら削り
14	土器18-14	(出土位置)覆土	⇒	貼床内
15	土器18-15	(出土位置)覆土	⇒	床直上
15	土器18-16	(出土位置)覆土	⇒	床直上
16	宇瓦19-1 備考		⇒	海綿骨針含む。
16	男瓦20-3	(出土位置)覆土	⇒	床直上
16	男瓦21-1	(出土位置)覆土	⇒	床直上・貼床内
16	男瓦21-2	広端隅切り	⇒	広端隅落し
16	男瓦21-4	広端隅切り	⇒	広端隅落し
16	男瓦21-5	広端隅切り	⇒	広端隅落し
16	女瓦19-7	梓板圧痕	⇒	細板圧痕
17	女瓦19-9	右側端隅切り	⇒	右側端隅落し
17	女瓦22-1 端面 特徴		⇒	広端を除く3端をナデ。
17	女瓦22-2	狭端を隅切り	⇒	狭端隅落し
17	女瓦22-3	叩き締め of 円弧B	⇒	叩き締めB
19	土器23-9	須一皿	⇒	須A一皿
20	土器23-12	須一皿	⇒	須A一皿
21	土器24-3	「イ」	⇒	「イ□」
21	土器24-4	須一皿	⇒	須A一皿
22	男瓦25-11 凹面 特徴	狭端・左側端縁へら削り。	⇒	広端・右側端縁へら削り。
22	男瓦25-11 凸面 特徴	右側端縁を幅広く	⇒	左側端縁を幅広く

22	男瓦25-11 端面 特徴	狭端・右側端指ナデ。	⇒	広端・右側端ナデ。
22	男瓦25-11 備考	狭端面に「×」の	⇒	広端面に「×」の
22	女瓦25-6 備考	凹面に3cmの	⇒	凹面に幅3cmの
26	2	SD23溝跡 土器一覽	⇒	表土 土器一覽
26	土器17-1	8層	⇒	表土
26	土器17-2	8層	⇒	表土
26	土器17-2	塼一覽	⇒	第Ⅱ層 塼一覽
26	塼17-8	6層	⇒	Ⅱ層
27	男瓦29-9	広端隅切り	⇒	広端隅落し
28	男瓦28-2	広端隅切り	⇒	広端隅落し
28	男瓦29-3	広端隅切り	⇒	広端隅落し
28	女瓦31-1	叩き締め円弧B	⇒	叩き締めB
29	女瓦32-2	叩き締め円弧B	⇒	叩き締めB
29	女瓦33-7	凹面枳板圧痕	⇒	女瓦33-8 凹面細板圧痕
29	女瓦34-1	叩き締め円弧B	⇒	叩き締めB
29	女瓦34-2	左側端縁幅広く	⇒	右側端縁幅広く
31	土器35-2	A層	⇒	A・B層
31	土器35-6	B層	⇒	A・B層
31	土器35-8	C層	⇒	B・C層
31	土器35-9	B層	⇒	B・C層
32	土器35-15	10.7	⇒	11.7
32	土器36-1	須一皿	⇒	須A一皿
32	土器36-2	B層	⇒	A・B層
32	土器36-3	コ字状の	⇒	く字状の
32	土器36-4	B層	⇒	B・C層
33	土器36-13	叩き締め円弧B	⇒	叩き締めB
38	図面2		⇒	SD42溝跡 D~D'断面図の1層と4層の間に3層が入る。
53	図面17	(SD23溝跡)	⇒	(表土)
62	図面26	SD46溝跡	⇒	SD49溝跡

2022年8月23日作成